

平成29年度函館市交通事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成29年度の乗車人員は、定期外客が前年度に比べ1.4%減の5,301,171人、定期客が前年度に比べ3.2%増の446,208人となり、合計で1.0%減の5,747,379人となった。

事業収益については、一般会計補助金の増加等により、前年度に比べ127,017,167円の収入増（9.4%増）となり、総額で1,485,247,247円となった。

事業費用については、減価償却費の増加等により、前年度に比べ147,398,916円の支出増（10.8%増）となり、総額で1,509,124,350円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ20,381,749円減少し、23,877,103円の純損失を生じた。

建設改良事業については、谷地頭折返線分岐器改良工事、函館駅前交差点市電架線柱新設工事、超低床電車の購入のほか、3000形電車および8000形電車の車体改良等を予定どおり施行した。

なお、定期乗車券については、利用者の利便性の向上を図るため、提示式定期券（紙製）を廃止し、平成30年4月1日からの交通系 I C カード（イカすニモカ）を利用した I C 定期券の運用に向けてシステムを整備し、学割定期の割引率の引き上げや6ヶ月定期の設定などを実施したほか、自宅最寄り停留場から通勤・通学先の最寄り停留場間の制限を廃止し、自由に通用区間を選択できることとし、平成30年3月1日から販売を開始した。